



写真:キリシマツツジ (平成22年4月10日 大河平小学校)

## 「ヤマツツジとキリシマツツジ」

真紅で一重の花を咲かせる「本霧島」。例年4月中旬ごろに大河平小学校で見ごろを迎えます。

キリシマミズキやハルリンドウがほころび、花の季節を迎えました。日当たりのよい林縁などに赤い花を咲かせているのはヤマツツジです。ヤマツツジは九州から北海道まで広く分布し、霧島山では山麓から山腹にかけてよく見られます。

ヤマツツジと、より火山高地に適応したミヤマキリシマの間には雑種ができることがあり、花の色や形にさまざまな変異があります。この雑種の特に美しいものがキリシマツツジの原種であると言われています。

キリシマツツジは江戸時代に園芸種として愛好され、全国に広まりました。石川県の能登地方には樹齢100年以上の古木が約280本残されています。中でも真紅で一重の花を咲かせるものは「本霧島」という伝統ある品種です。この「本霧島」を霧島周辺で見ることが出来る場所は多くありませんが、大河平地区で保護されている大河平つつじが「本霧島」です。大河平小学校には樹齢400年とも言われる大木が約58本あり、例年4月中旬に見ごろを迎えます。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ヤマツツジ  
*Rhododendron kaempferi*  
キリシマツツジ  
*Rhododendron obtusum*  
ミヤマキリシマ  
*Rhododendron kiusianum*

ツツジ科ツツジ属